

論 題 光を使って考える新たな住教育プログラムの可能性

学籍番号 20718018

指導者 薬袋 奈美子 専任講師

氏名 鈴木 麻実

1. 研究の背景と目的

手に入りやすく持ち運びが出来る照明を使うことで、生活空間を演出し工夫することは子どもたちにもできる。本研究では、「光」という要素を住教育に組み込み、住空間を主体的に考え創るきっかけづくりとして体験学習の提案を行う。

2. 研究の概要

2-1 研究方法

研究の流れを図1に示す。インタビュー¹⁾から教育現場の様子を知り、助言を基に授業案を作成した。2010年11月27日に杉並区の下井草児童館にてワークショップを行い²⁾、子どもの発言や作品を、過程に焦点を当ててまとめ、分析した³⁾。

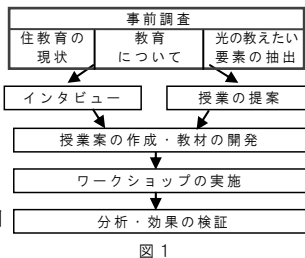


図1

2-2 ワークショップの概要

図2に示すように、ワークショップの構成は大きく3つの要素から成り立つ。「鑑賞」では、美術教育の中で注目されている“ギャラリートーク”を参考にし、授業者の問いかけから自由に思いついたことを発言させる対話型の学習を取り入れた。書かせることが中心の調査・研究が多いが、瞬時に思いついたことを自分の言葉で表現することを促し、子どもたちそれぞれの感じ方・考え方を実態として捉える。「工作」ではベニヤ板でつくったドーム状の小屋に灯す「あかり」をつくる。目標は子どもたちが、身近にあるものを使って自分で創り上げる空間が、居心地の良い空間となり得るのだということに気がつくことである。また、このプログラムのねらいは、自然光や火、人工照明といった「光の種類」と、「あかりの演出方法」についてスライドで学び、光についての理解を深め、それを作品に活かすことである。

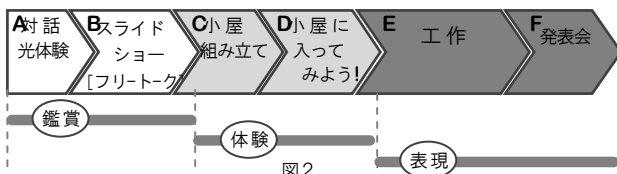


図2

3. 鑑賞プログラムの分析

3-1 A「対話」からB「スライド」への流れと関係

スライドを見せる前に、自由に想像したり、話したりできる場として、A「対話」の時間を設けた。この時には、問いかけに対して答えるだけであった子どもたちが、B「スライドショー」に移行すると次第に問いかけを行わなくても、感じたことや過去の経験から結びつけたことを自然と話すよ

うになり、興味・関心や意欲が高まっていく様子が見受けられた。(表1例：スライド④の二番目の項目) 対話の時間に火を見つめ、自由に話す雰囲気づくりが効果的だったといえる。

3-2 スライドの展開と子どもの感性の鋭さ

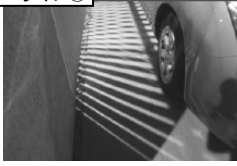
B「スライドショー」では、予想以上に子どもの発言が活発化し、予め用意しておいた伝えたい事柄や次の展開を先に感じ取って発言してしまうような場面がいくつもあり、子どもたちの感性の鋭さに驚かされた。(表1例：グレーの部分)

3-3 光

光について対話の際は、色だけに着目した意見が多かったが、スライド②を見た後、描かれていない昼間の太陽の光の色について問いかけたところ、「反射」(表1のスライド②グレー部分)について述べた意見が返ってきた。また、スライド③では光のコントラストに注目して「影」について意見を述べていた。また、スライド⑨では経験と結び付け、自分と「接点」を持って考えられていた。(図3) 表1

内容	スライド番号・問いかけ	子どもの反応
暗い↓明るい	① 暗い所から明るい所に来ると、どんな感じがする?	嫌な空間から、良い空間に逃げ出した 暗闇から… 暗い夜から、明るい朝に変わったような感じ
	② だんだん空が明るくなってきた! 朝白って何色かな? 早く起きると、空が赤いよね。それがだんだん何色になる?	朝日だ 黄色 … オレンジ … 赤 黄色 黄色 … 白 黄色が反射したみたい 白が反射する (太陽が)降りると、オレンジ色 … 夕日
夕日の反射	③ 夕日がこんな下には何があろう? 上の方はどう?	雲の影 水に太陽の光が当たっている… ちよっと雲 光の3D みたいな
	④ どこから撮っているんだろう? 夕暮れの光はリラックスさせる「あかり」だよ。昔の人は電気が無かったよね	バス さっきの火をつけた「あかり」の明るさと結構似ている 行燈 火打石 囲炉裏 蠟燭みたいなランプ 手動でやっていた 「キ〜コキ〜コ」みたいな火を点けるヤツ 糸と木を使って自分たちで作って…
焚火	⑤ 火が点いたら、こんな感じがかな。	上空はちよっと、もう結構薄暗いけど、下の火は結構明るい さっきの迫力(キャンドルの火)よりも結構構い まわりが赤で、中が黄色みみたいな ガスクリン・ヒーター
	昔は灯りとしてもこれを使い、料理をつくるのもこれ。そして、これが暖房! 全部この火!	温まって、暖房 火は結構熱いから近くにいるだけでも 灯油とかは無い時代だと思うけど… 心が温かいっていうか、からだか温かいっていうか、誤して「心が温かい」という感じがする

スライド⑨






・外か中か分からないけどその隣りに玄関があってその上に電球がついていて、それが光っていて
 ・車の横の隙間の明かり
 ・棒みたいな場所にお日さまが反射してこうなっている
 ・学校から児童館に帰ってくる時に、そういう隙間みたいなのがあって、浴びるとガタガタガタガタって(歩いている)自分の身体に(影が映る)

図3

3-3 光についての理解の深まりを確認する為の3枚のスライド
 スライド⑩までで提供した自然光や火などについて捉え、発言できている。(表2)

表2







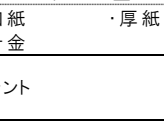
スライド・問いかけ	子どもの反応
①⑨ これはどんな感じがする? 	・ステンドグラス ・座・高円寺の会場みたい ・どうして電気使っていないかな? ・あそこで使っているのではあれはろうそくでしょ、多分 ・あ〜、教会とか?
どうして真っ暗何だと思う? 何で教会だと思った?	・椅子で ・光を使って ・お日さまの光を利用して、電気は使わない ・省エネだ ・今は誰もいない、人っ子一人
②① 	・お茶の間 ・和室 ・和紙 ・上だけ障子 ・森のコマーシャルみたい ・テラス ・椅子 ・さっきから人いない ・森 ・そこに金魚がいて、それを眺める為とか
縁側みたいな所に椅子が置いてあって、どこを見ているのだろうね? 「あかり」はいくつある?	・お風呂の王様の温泉的みたいなのが一個ぐらいある ・左のはちよつと心が明るくなる感じで、右のはゆったりする感じ ・黄色・金色・青 あと、白
②② 	・雨の後 ・水の反射 ・マンホールも ・カメラに反射 ・神社みたい 寺というか ・浅草にありそう ・蕎麦屋さん ・温泉じゃない? ・和食屋さんとか… ・黄色っぽい・オレンジっぽい ・上は部屋みたい
どんな「あかり」?	

4. 作品について

小さな家の形をした「あかり」や和紙で周りを囲んだものなど、様々なかたちのものがあり、中には、薄い布を掛けて間接照明のように光を和らげているものもあり、明るさや色にまでこだわる様子が見られた。スライドで提示した要素が作品にも表れていた。(表3)また、お互いのあかりを見せ合ったり、置く位置を変えてみたりと、時間を忘れて楽しんでいる様子が見られた。

普段、集中力が持続しにくい子や、工作はあまり好きではないという子も、約3時間集中して取り組んでいた。普段の一斉工作の場合と異なり、先生に頼ったり、先生に聞きに来たりすることが

表3

	Hくん (小3)	Sちゃん (小5)
作品		
特徴	・一番下にガラス瓶を使ったので、ガラス瓶を通して光が床面に広がり、面白い模様を描く ・竹串が見える部分と、紙コップから透けてシルエットとして見える部分の対比が面白い ・木・紙・ガラスという3つの素材を通して異なる光の出具合を表現している	・四方から伸びる針金が柱となってテント型を形づくっている ・全体的に和紙を使い、一か所だけライトを取り出す為の入口を設け、薄いピンクの布を垂らしている ・和紙と布2つの素材を通して異なる光の出具合を表現している
作品と結び付くスライド	⑨  ⑩  ⑮ 	⑥  ⑧  ⑪  ⑦ 
材料	・豆電球 ・発泡スチロール ・紙コップ ・竹串 ・ガラス瓶	・LED キャンドル型ライト ・和紙 ・厚紙 ・針金
イメージ	・ランタン ・茶の間をイメージして和風に ⇒ 竹串の部分がポイント	・テント

なかったという⁴⁾。

5. おわりに

空間をもっと身近で実践的に、かつ自由なものとして捉えられるように「光」を使ってアプローチをした。平面の世界だけで思考を留めてしまわず、立体的・空間的に考えることができれば視野は広がり、より自由な発想や新たな創造性をつくり出すことができるのではないだろうか。

参考文献

◆日本人とすまい実行委員会『日本人とすまい あかり A/KA/RI』リビングデザインセンター(2000)

注釈:

- 1) 家庭科教諭の小杉江以子先生(10/22,11/16, 11/23)と中村道子先生(9/14)、図画工作科教諭の辰野美奈子先生(10/5)と斉藤先生(11/21)、元児童館職員の川端淳子先生(9/6,11/26)、にインタビューを行った。
- 2) 小学3年生から6年生までを対象にした。当日集まったのは、3年生7人、4年生1人、5年生4人の12人である。
- 3) ボイスレコーダーとビデオカメラによって記録を行った。
- 4) ワークショップの後に、普段の子どもたちの様子について児童館の先生にヒアリングを行った。(11/27)